

平成 22 年度

第48回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 平成 23 年 2 月 22 日 (火)

13:30 ~ 14:30

式場 石川県教育センター大研修室

式 次 第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与
個人表彰
功労者表彰
学校表彰
- 3 助成金交付
学校助成
- 4 表彰状授与及び奨励金交付
研究奨励
- 5 あいさつ
石川県科学教育振興会会長 菱 沼 捷 二
- 6 来賓祝辞
石川県教育委員会教育長 竹 中 博 康
- 7 謝 辞
- 8 閉式のことば

受賞者等の紹介

1 個人表彰

金沢市立緑小学校 主幹教諭 **高田 智生**

金沢市立南小立野小学校を初任に、同戸板小学校、同菊川町小学校、同諸江町小学校、金沢市教育委員会学校指導課指導主事、金沢市教育プラザ富樫研修相談センター指導主事を経て現在に至る。石川県奨励研究で「自ら自然事象を探究する子」等の実績があり、平成22年度の第43回全国小学校理科教育研究大会石川大会では、研究部研究総括を務め、大会全体研究会において基調提案を行った。金沢子ども科学財団児童科学教室の指導員、金沢市教職員研修「理科実技研修」講師、「理科の学習」編集者、金沢市小学校教育研究会理科部会幹事として、幅広く理科教育に貢献している。

金沢市立金石中学校 教諭 **宮崎 晋一**

金沢市立兼六中学校を初任に、同長田中学校、同野田中学校、内灘町立内灘中学校を経て現在に至る。全国中学校理科教育研究大会、県理科教育研究大会での提案や越馬徳治科学教育研究奨励など理科学習に関する研究実績が数多くある。指導面では、多くの生徒を高峰賞個人賞や県児童生徒科学作品コンクールでの入賞へと導いた。また、校内においても理科の教材開発・教材研究の推進役として貢献している。

志賀町立志賀中学校 教諭 **大山 久祥**

小松市立丸内中学校を初任に、同松陽中学校、羽咋市立羽咋中学校、同邑知中学校、金沢大学附属中学校を経て現在に至る。越馬徳治科学教育研究奨励における「羽咋のプランクトン」や県理科教育研究大会での提案、日本理科教育学会・全国中学校理科教育研究会における発表等の実績がある。指導面では、県児童生徒科学作品コンクールの指導を長年行い、数多くの生徒を受賞へと導いた。また、羽咋市や志賀町の理科部会の役員として地域の理科教育に貢献している。

石川県立小松高等学校 教諭 **田口 雅範**

石川県立飯田高等学校を初任に、石川県立金沢泉丘高等学校通信制課程、同全日制課程を経て現在に至る。「化学実験映像集の制作と活用実践」、「薬品の有効利用と安全管理をめざして」など、数多くの研究実績がある。指導面では、10年以上にわたり化学部の顧問を務め、日本学生科学賞で環境大臣賞をはじめとする多くの表彰の受賞に生徒を導いた。また、県高等学校教育研究会理化部会の実験書検討委員代表や理事を歴任するなどし、理科教育の発展に貢献している。

2 功労者表彰

金沢市立兼六中学校 校長 **荒井 秀典**

東京都東大和市立第三中学校、金沢市立紫錦台中学校、アムステルダム日本人学校、金沢市立野田中学校、金沢市教育委員会学校教育課指導主事、金沢市教育研究センター指導主事、同所長補佐、金沢市立森本中学校教頭、セントラルケンタッキー日本人補習校校長、金沢市立清泉中学校教頭を経て現在に至る。長年、金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品展や県児童生徒科学作品コンクールの指導にあたり多くの生徒の入賞に寄与した。また、第46回県理科教育研究大会での編集副委員長を務めるなどした。

石川県立金沢伏見高等学校 校長 **乗富 政雄**

石川県立ろう学校を初任に、同河北台商業高等学校、同金沢西高等学校、同金沢錦丘高等学校、石川県教育委員会学校指導課指導主事、石川県教育センター研修企画課長、同教職研修課長、石川県立金沢北陵高等学校教頭、同小松工業高等学校教頭、同翠星高等学校校長を経て現在に至る。県理科教育研究大会において、「科学史に基づくモジュール教材の開発」を発表するなどの研究実績がある。また、県高等学校理化部会副会長、会長を歴任するなど、理科教育の発展に貢献している。

3 学校表彰

金沢市立長坂台小学校

(校長 川本和美)

当校は、平成14・15年度に「個に応じた学習力向上のための実践研究校」として県の指定を受け、理科教育においても一人一人に理科の基礎基本が定着することをめざして授業実践を行ってきた。また、平成22・23年度の金沢市委託事業「言語活動・理数教育推進校」の指定を受け、10月に公開研究発表会を行いその成果が認められている。授業以外にも自然事象や科学的な研究に興味関心を寄せる児童を育てるために、児童のクラブ活動や夏休みのサマースクールにおいて、理科担当教員を中心に全職員協力のもと取り組んでいる。

宝達志水町立相見小学校

(校長 村上正人)

当校は、昭和54年に県理科教育研究大会の会場校となり、それ以降長年にわたり、学校研究として理科教育に取り組んでいる。特に自然豊かな田園地帯に立地する恵まれた環境を活かし、周辺の田畑での様々な植物の栽培・一人一鉢や花壇の世話を通して、児童の自然に対する関心意欲を高める取り組みがなされている。平成23年度は羽咋郡市の指定研究の発表校、平成24年度は県理科教育研究大会の会場校に決定しており、現在それを視野に入れながら、教員の指導力向上を図りさらなる理科授業の充実をめざしている。

金沢市立浅野川中学校

(校長 普照豊)

当校は、平成21・22年度に文部科学省の「道徳教育実践研究事業」推進校の指定を受け、理科では道徳教育との関連を踏まえた生命分野の授業実践を行った。また、3年間を通して学び合う力をつけていくため、発問に対する答え方や話し合いのルールなど授業の型を定着させるように努めている。夏休みを中心に個人の研究活動にも力を入れおり、金沢市小・中学校児童生徒科学研究作品展に多くの作品を出品し、優良賞等を受賞している。高峰賞についても毎年、個人賞や奨励賞を受賞している。また、科学部は、ロボットコンテストへの参加など精力的に活動している。

石川県立金沢桜丘高等学校

(校長 吉岡利恭)

当校では、創立当初より生物部や化学部など理科関係の部活動も活発に行われてきた。平成16年度にはそれらの部を統合してアクティブサイエンス部とし、以来、酢酸ナトリウムを用いた濃度と過冷却速度の研究やストロボスコープを用いた音振動の視覚化研究、白山における外来植物の調査など、幅広い分野で研究を行ってきた。また、「サイエンスフェア」などの校外の行事に参加し、科学実験の演示や指導を行い、小・中学生に対する科学への啓発活動にも取り組んでいる。

4 学校助成

小松市立苗代小学校

(校長 松本進)

小松市立芦城中学校

(校長 寺島浩)

石川県立小松工業高等学校

(校長 宇都宮博)

平成23年度に小松市で開催される第48回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

5 研究機関助成

石川県教育センター

(所長 宗末勝信)

学習指導要領改訂の柱である理数教育の充実に向け、小学校理科実験指導の中核となる人材育成のため、継続的な研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

6 研究奨励 (※は研究代表者)

〔優秀賞〕

子どもが創る理科

～予想や仮説をもち、計画的に追究する子を目指して～

金沢市立材木町小学校教諭

順教寺文代*

金沢市立明成小学校教諭

夏至 康子

金沢市立小立野小学校教諭

森 裕子

金沢市立小坂小学校教諭

松尾美和子

身近な植物を用いた重力屈性の教材化

石川県立金沢錦丘高等学校教諭 捨田利 謙

〔優良賞〕

系統的な「粒子」概念の育成

～目に見えない事物・現象から「粒子」に気づかせるための実験及び単元構成の開発～

金沢市立南小立野小学校教諭

中田 哲幸*

金沢大学附属小学校教諭

岩崎 誠

金沢市立杜の里小学校教諭

大井山 武

金沢市立田上小学校教諭

竹田 嘉徳

金沢市立三馬小学校講師

中野 岳央

子どもが創る理科

～実感を伴った学びをめざして～

金沢市立新神田小学校教諭

荒井志穂子*

金沢大学附属小学校教諭

伯耆身奈子

金沢市立戸板小学校教諭

吉川 恭子

金沢市立長坂台小学校教諭

高城 香織

系統的な粒子の概念の育成

－素朴概念からの巨視的概念，微視的概念へ－

金沢市立三和小学校教諭

戸田 真実*

金沢市立夕日寺小学校教諭

平木 貴裕

金沢市立朝日小学校教諭

永井 重輝

金沢市立中央小学校教諭

常光 史明

金沢市立木曳野小学校教諭

山口 裕樹

金沢市立米丸小学校教諭

田井 和基

金沢市立中央小学校教諭

北村 弘樹

学校で成功するモンシロチョウの飼育方法

白山市立白嶺小学校教諭

平松 新一